

福島^の農産物^に対する 放射性物質^の影響^調査



ふくしまから
はじめよう。

福島県 農林水産部

環境保全農業課

二瓶 直登

農産物の安全性への取組み

- 農林水産物の安全性を確認するために、原子力災害特別措置法に基づき原子力災害対策本部が「農林水産物に係る緊急事環境放射線モニタリング(以下モニタリング調査と略する)」を行っている。
- 厚生労働省は事故直後に放射性セシウムの暫定規制値を設定。平成24年4月1日から新基準値を設定。モニタリング調査で基準値を超えた場合は、市町村ごとに出荷制限等の措置がとられる。

◎放射性セシウムの暫定規制値

食品群	規制値 (ベクレル/kg)
野菜 穀類	500
肉・卵・魚・他	500
牛乳・乳製品	200
飲料水	200

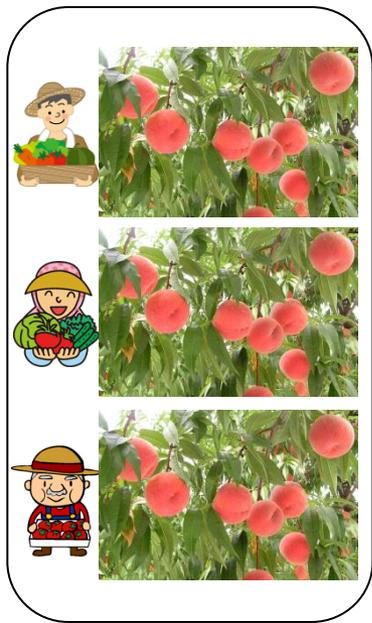


◎放射性セシウムの新基準値

食品群	基準値 (ベクレル/kg)
一般食品	100
乳児用食品	50
牛乳	50
飲料水	10

モニタリング調査

- 出荷が始まる直前から出荷期に、生産量や出荷額等に留意し、市町村、団体等と協議して、品目や採取場所等を決定
- 抽出したサンプルを粉砕して容器に詰め、分析機器で測定。



農産物を生産



分析用のサンプルを抽出



サンプルの粉砕



容器への詰め作業

分析体制

- 農業総合センターに分析課を設置(16人)
- 2交代制ゲルマニウム半導体検出器を10台設置して分析を実施



調査点数

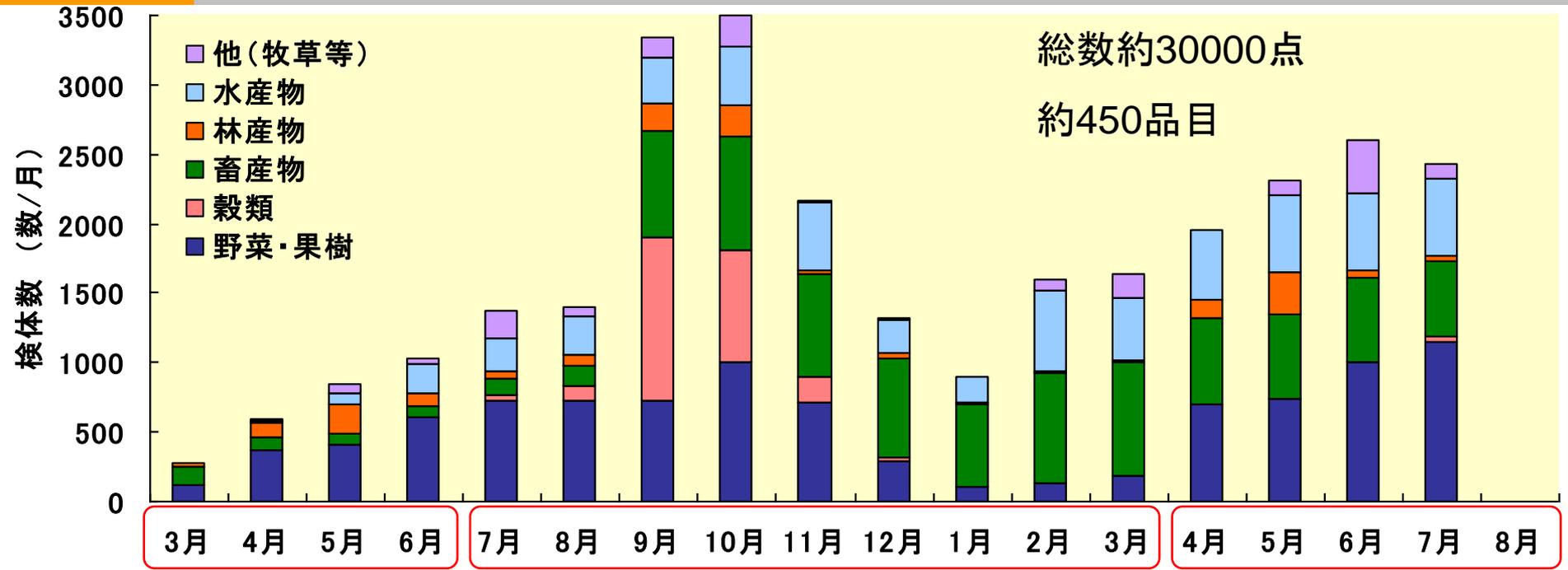


図 月別の分析点数

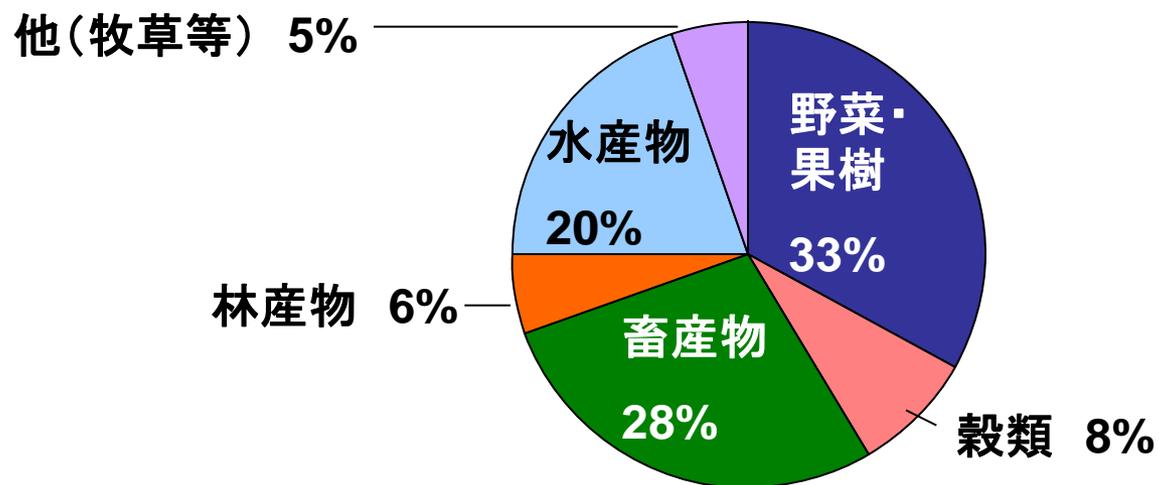
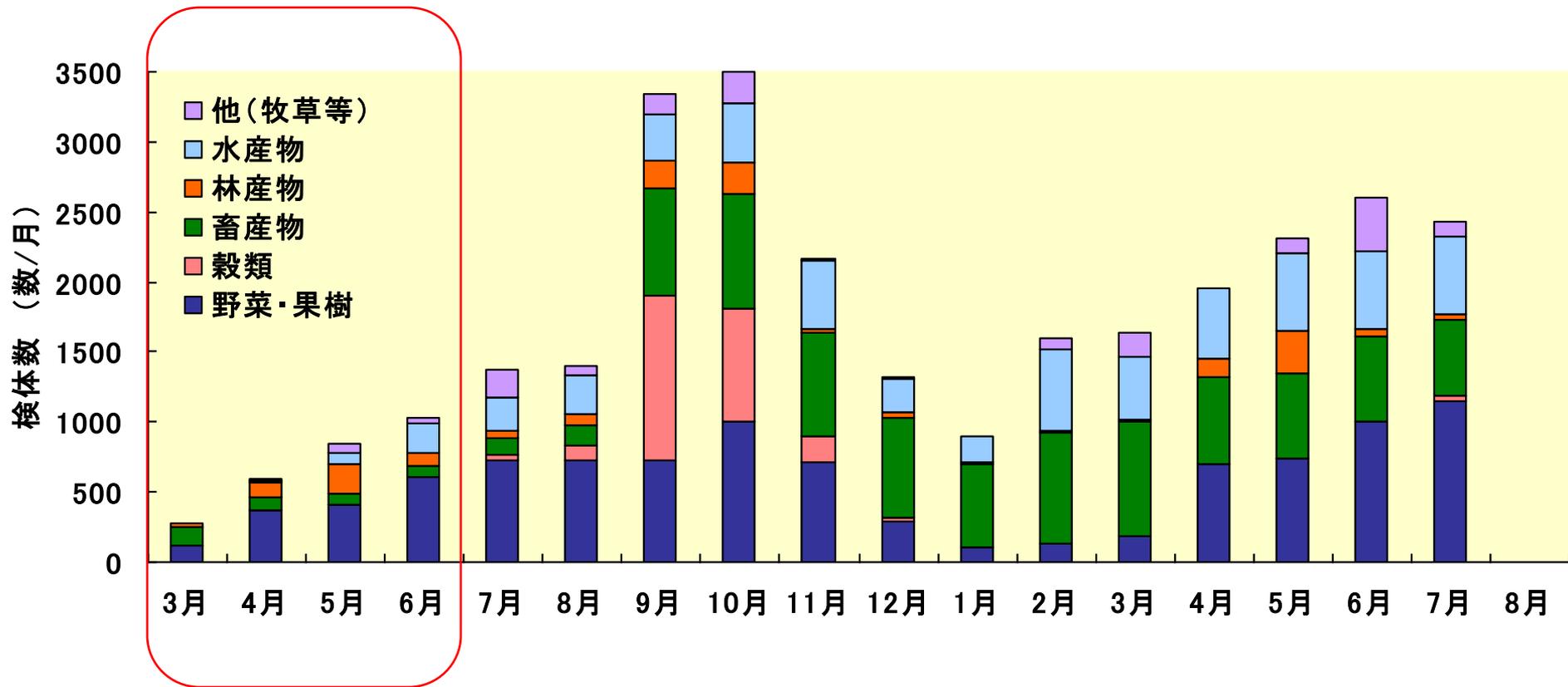
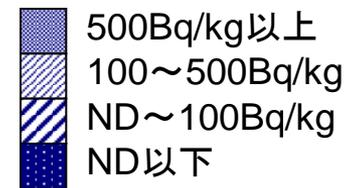


図 分類別の分析割合

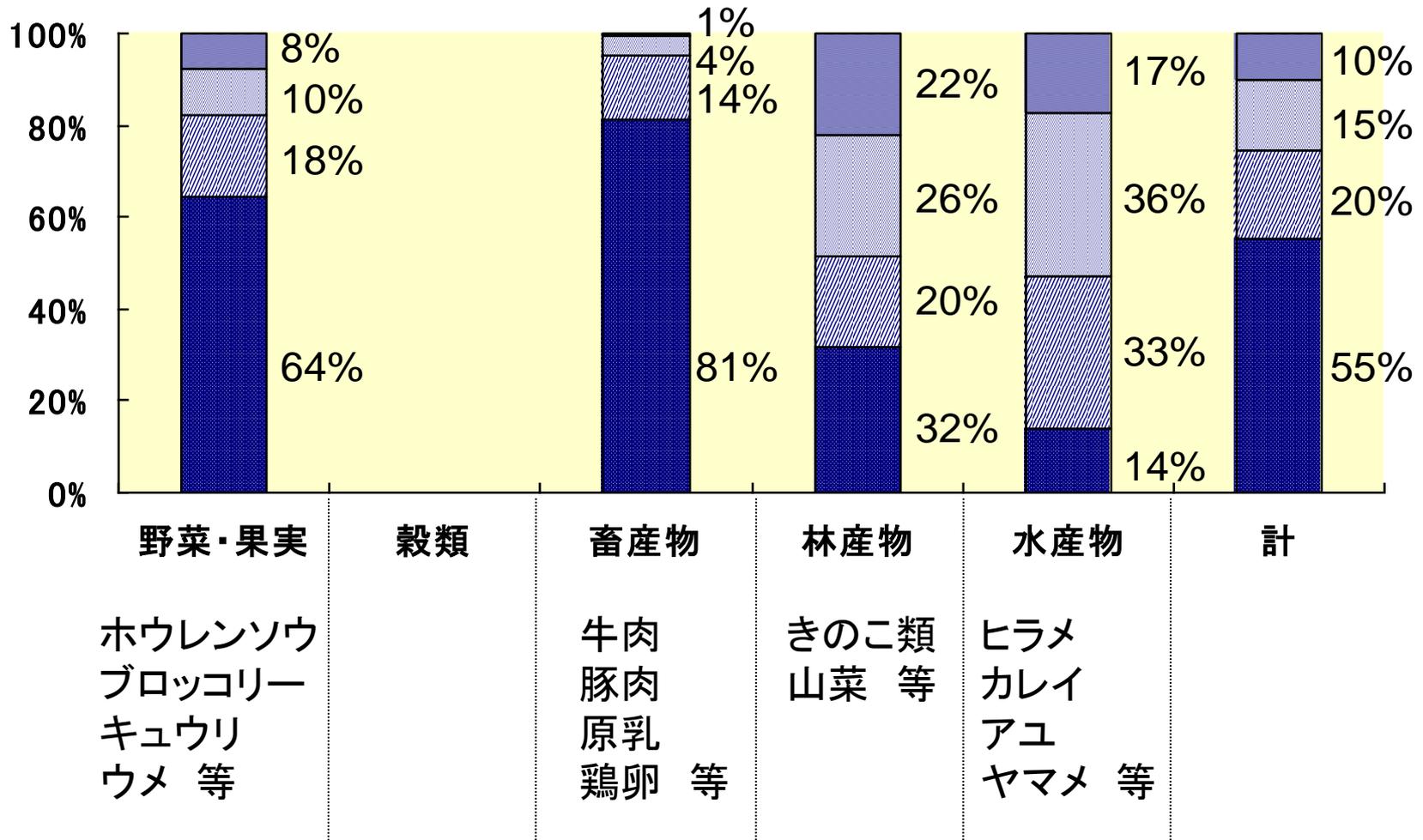
2011年3月～2011年6月



2011年3月～6月



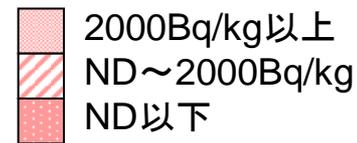
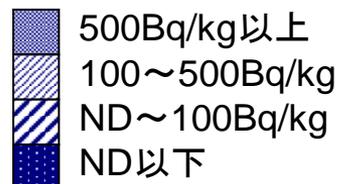
○調査全体(計2,641)でNDは55%、ND～100Bq/kgは20%、100～500Bq/kgは15%、500Bq/kg以上は10%



2011年3月～6月 ホウレンソウ、キュウリ

○放射性セシウム、放射性ヨウ素が検出

○放射性物質の直接降下(フォールアウト)により、葉菜類(ホウレンソウ等)の濃度が高い。



放射性セシウム濃度

放射性ヨウ素濃度



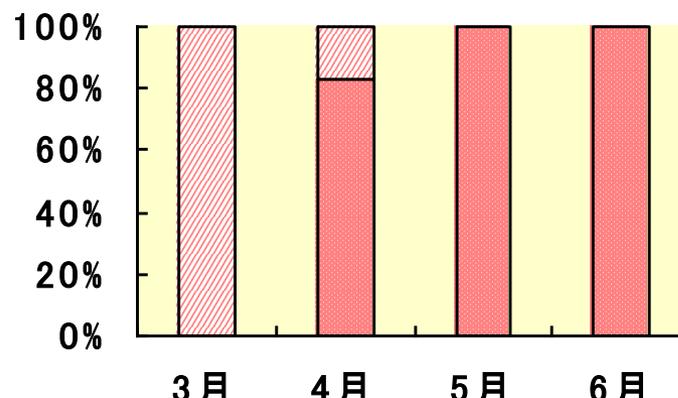
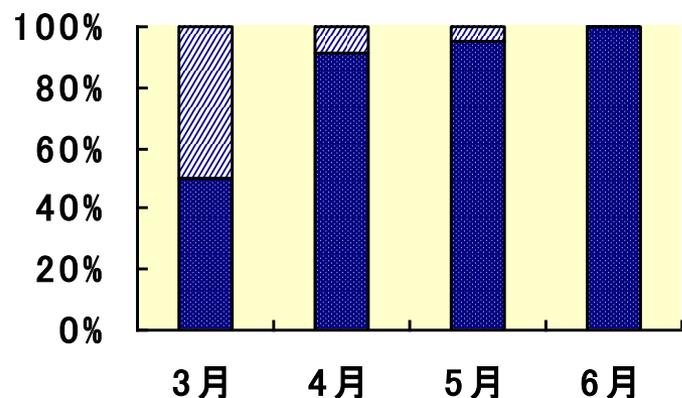
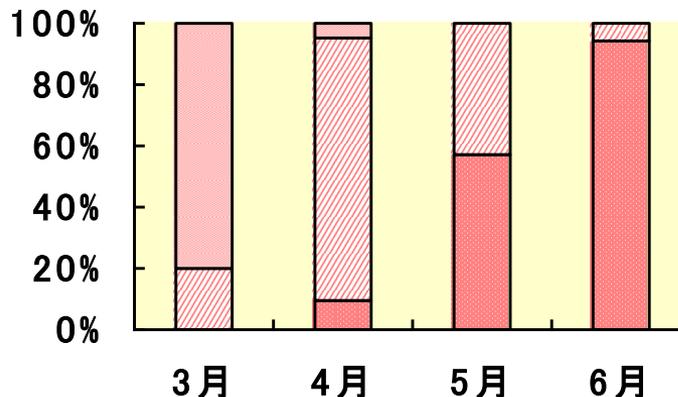
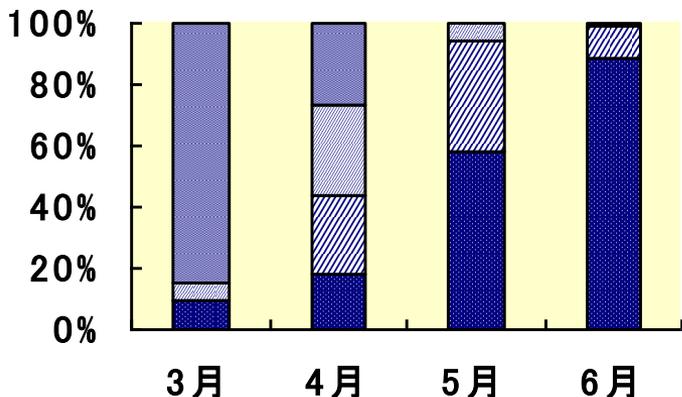
ホウレンソウ

最大値
Cs: 34,000Bq/kg
I: 8,400Bq/kg



キュウリ

最大値
Cs: 8Bq/kg
I: 21Bq/kg

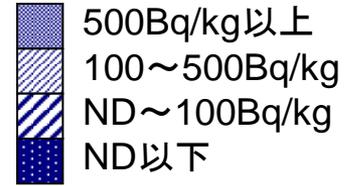


放射性セシウム

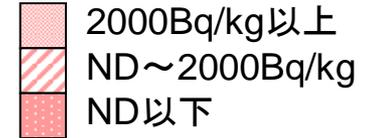
放射性ヨウ素

2011年3月～6月 ウメ、キノコ類

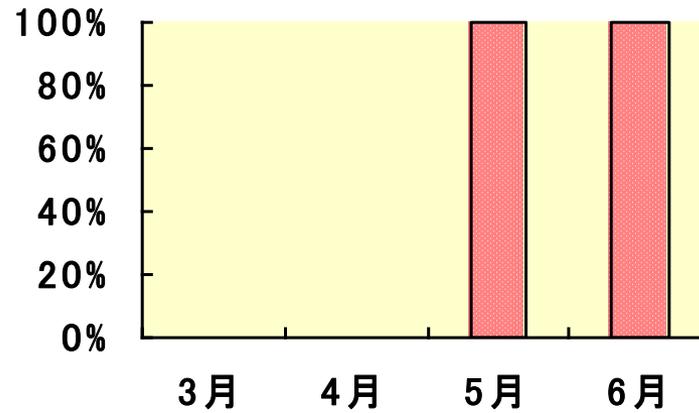
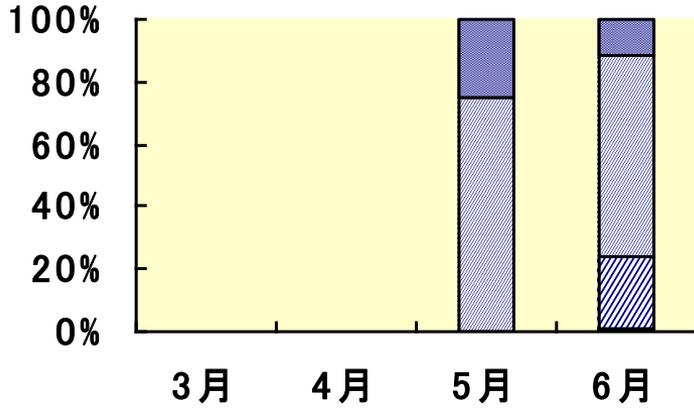
○ウメ、キノコ類は放射性物質の濃度が高い



放射性セシウム濃度

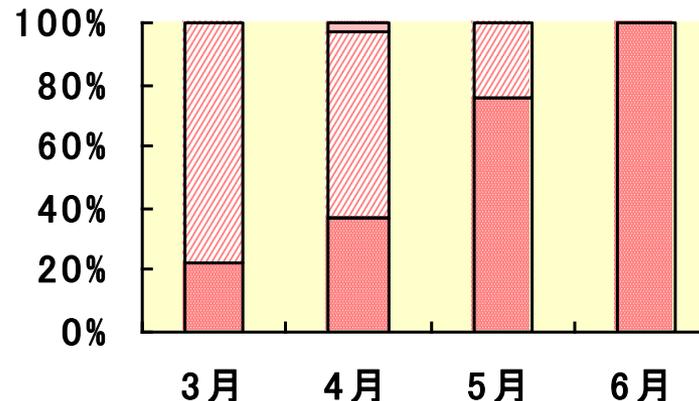
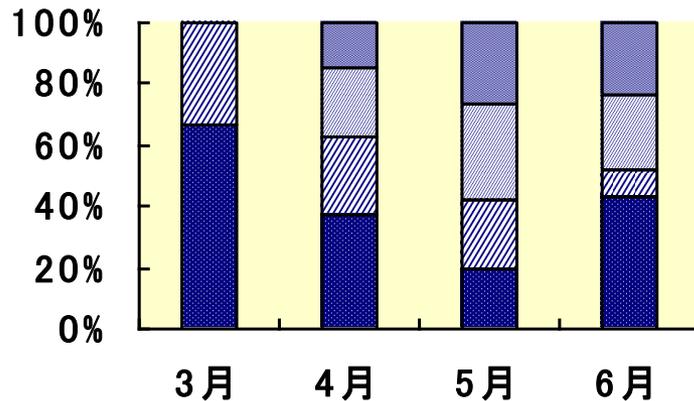


放射性ヨウ素濃度



ウメ

最大値
Cs: 760Bq/kg
I: 0Bq/kg



キノコ類

最大値
Cs: 13,000Bq/kg
I: 12,000Bq/kg

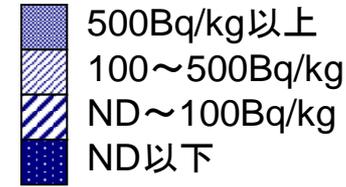
放射性セシウム

放射性ヨウ素

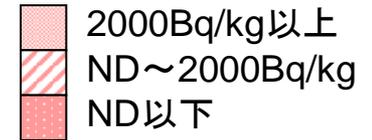
2011年3月～6月 原乳、魚介類

○原乳は3～4月まで放射性物質の濃度が高い

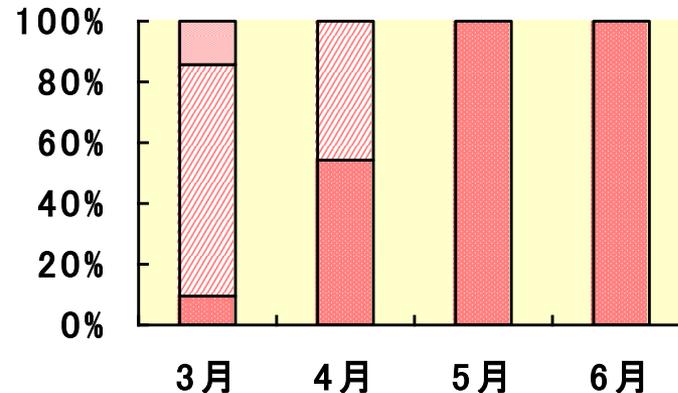
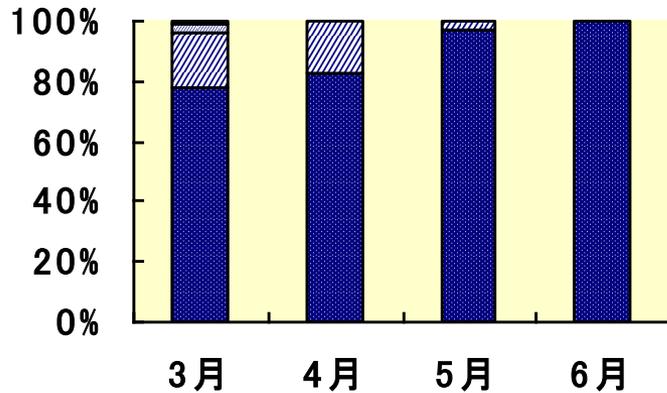
○魚介類は放射性物質の濃度が高い



放射性セシウム濃度



放射性ヨウ素濃度

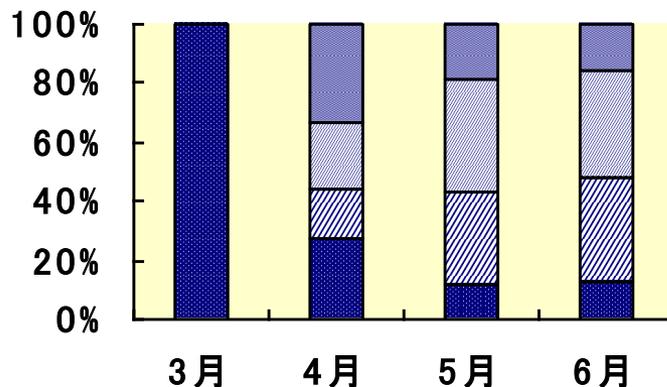


原乳

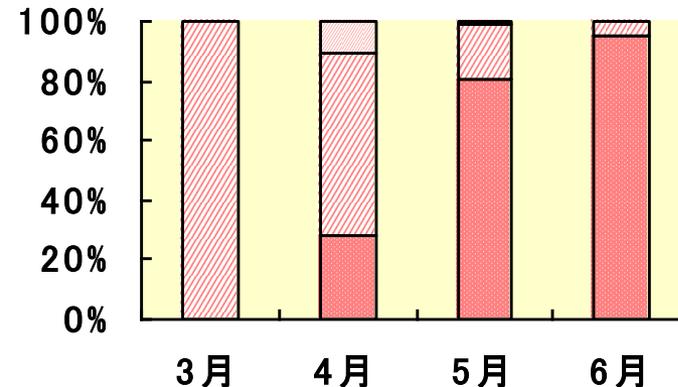
最大値

Cs: 420Bq/kg

I: 5,300Bq/kg



放射性セシウム



放射性ヨウ素



魚介類

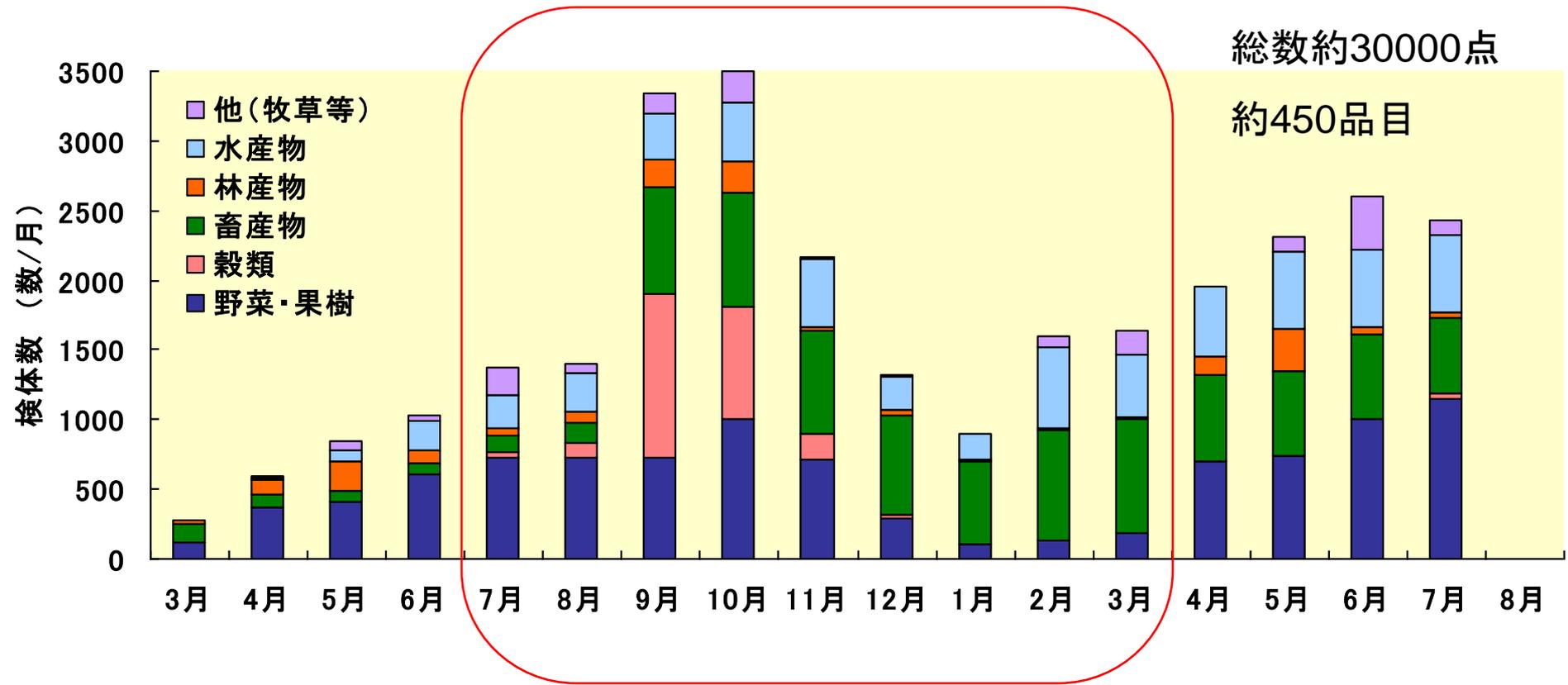
(ヒラメ、カレイ等)

最大値

Cs: 12,000Bq/kg

I: 14,400Bq/kg

2011年7月～2012年3月

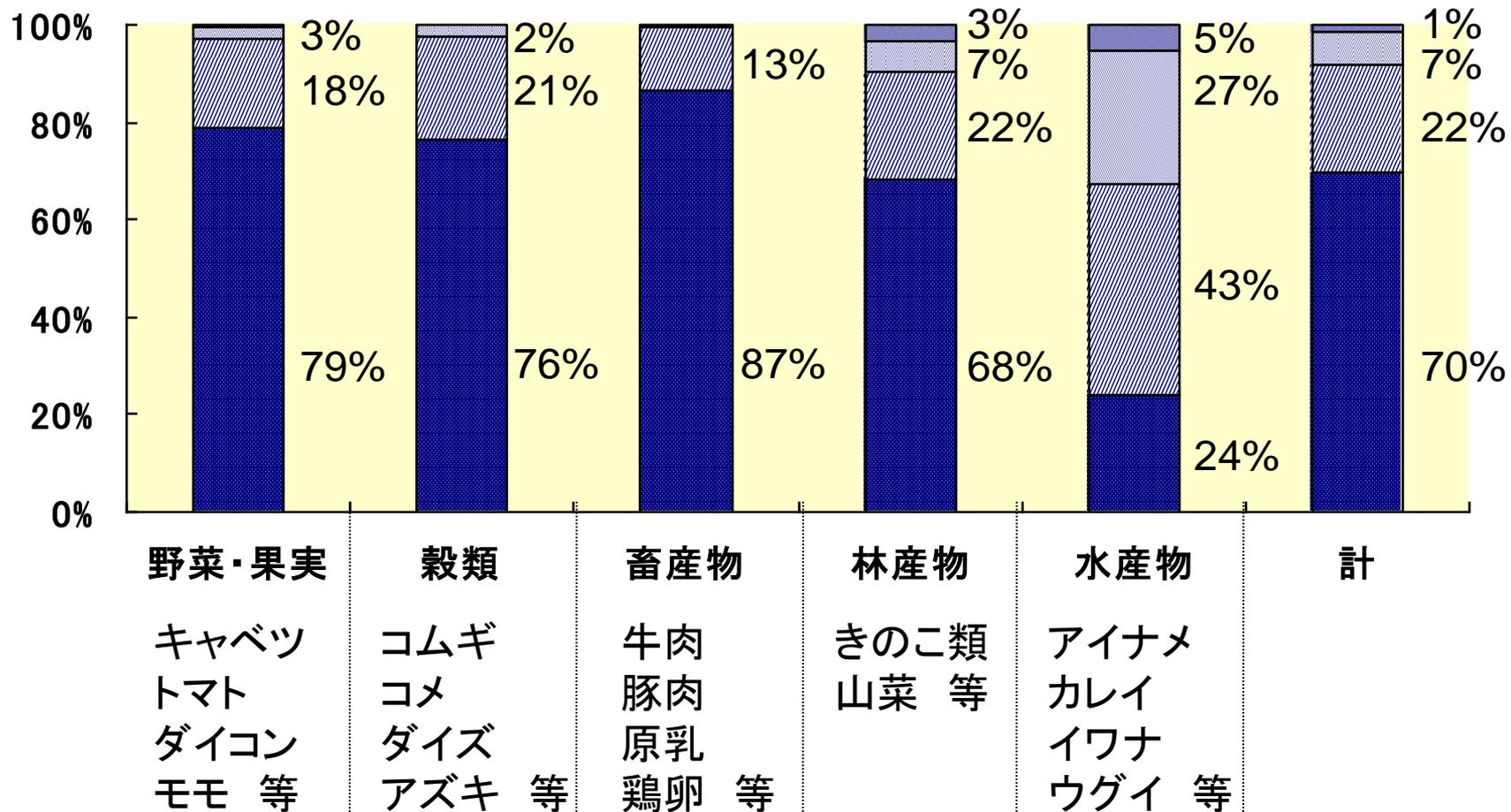


2011年7月～2012年3月までの結果を平均して、品目別に表示

2011年7月～2012年3月

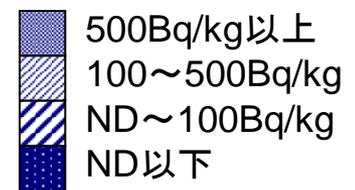


○調査全体(計16,758)でNDは70%、ND～100Bq/kgは22%、100～500Bq/kgは7%、500Bq/kg以上は1%



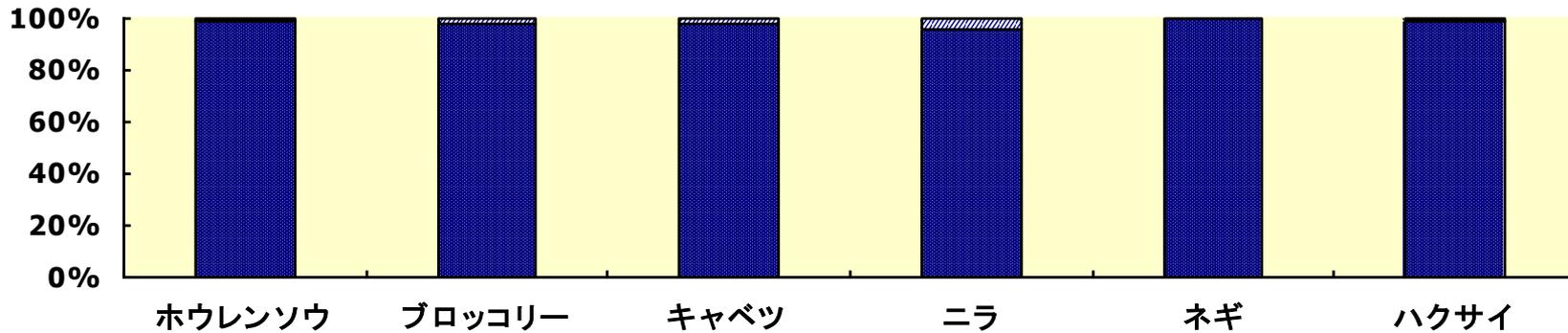
2011年7月～2012年3月

野菜

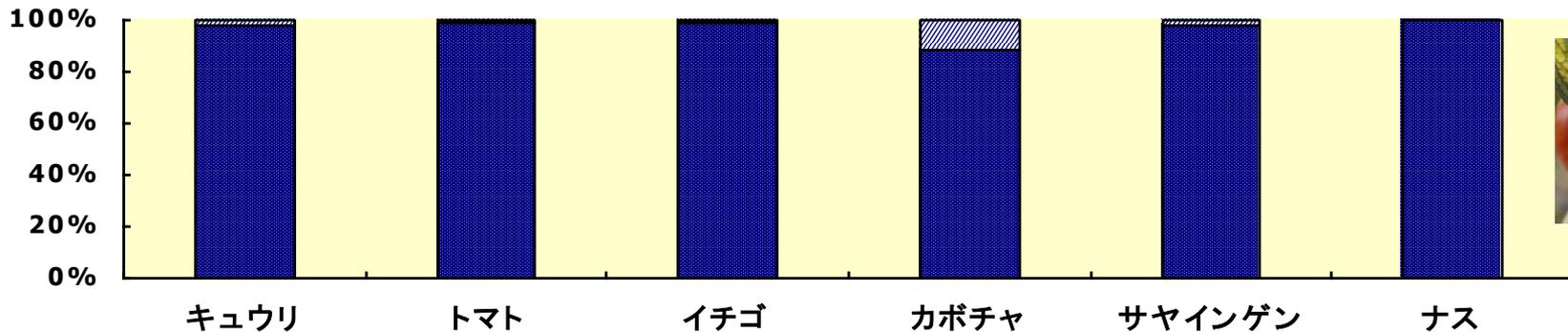


放射性セシウム濃度

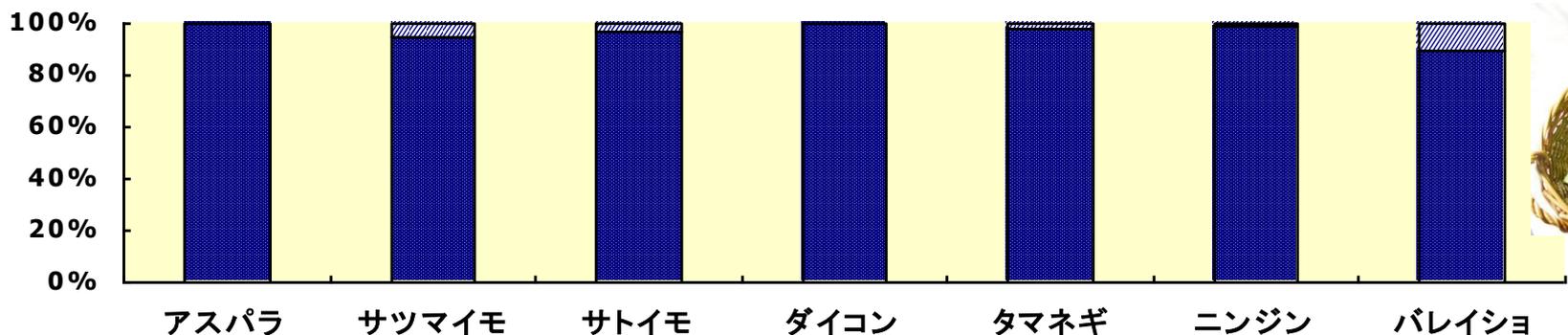
○ 全て100Bq/kg以下



葉菜類

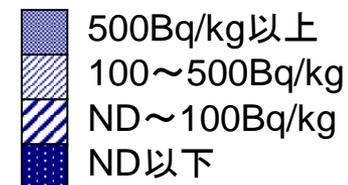


果菜類

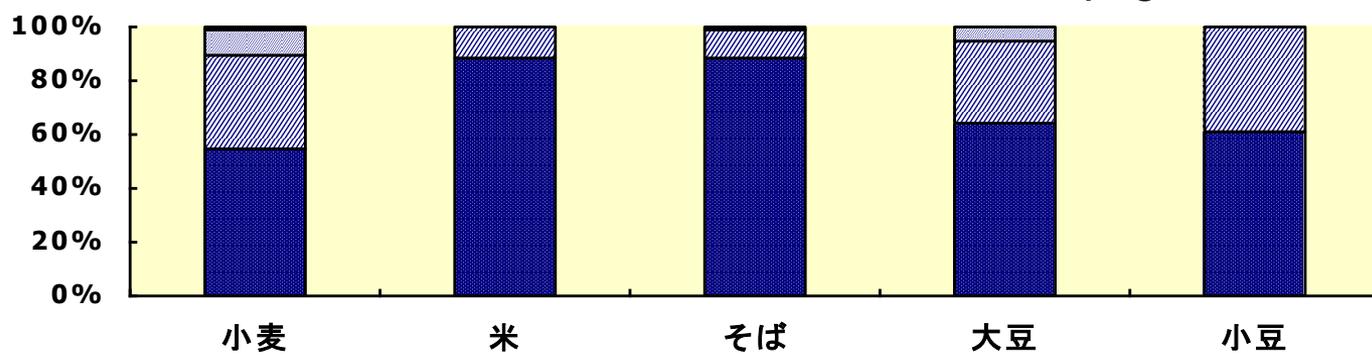


根菜類

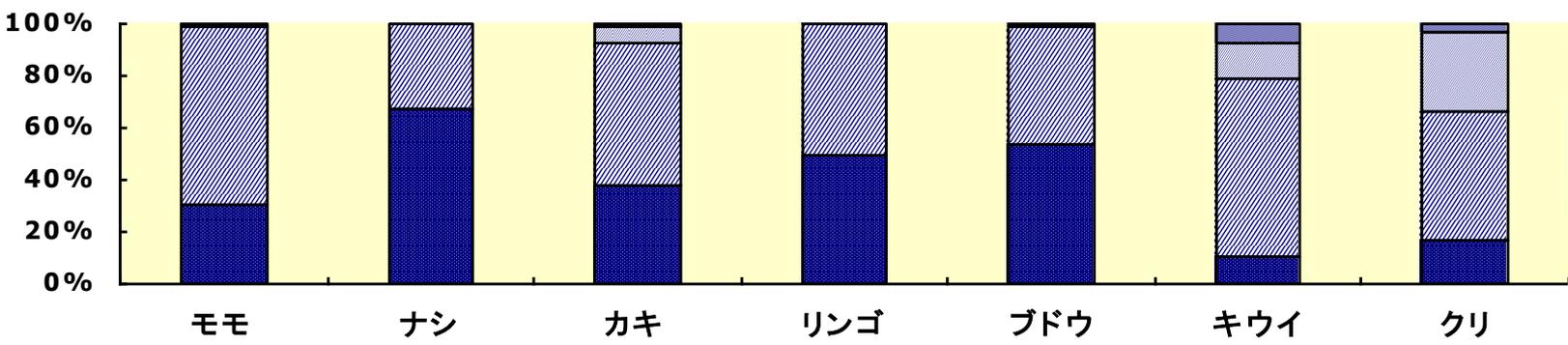
2011年7月～2012年3月 穀類、果樹、肉類等



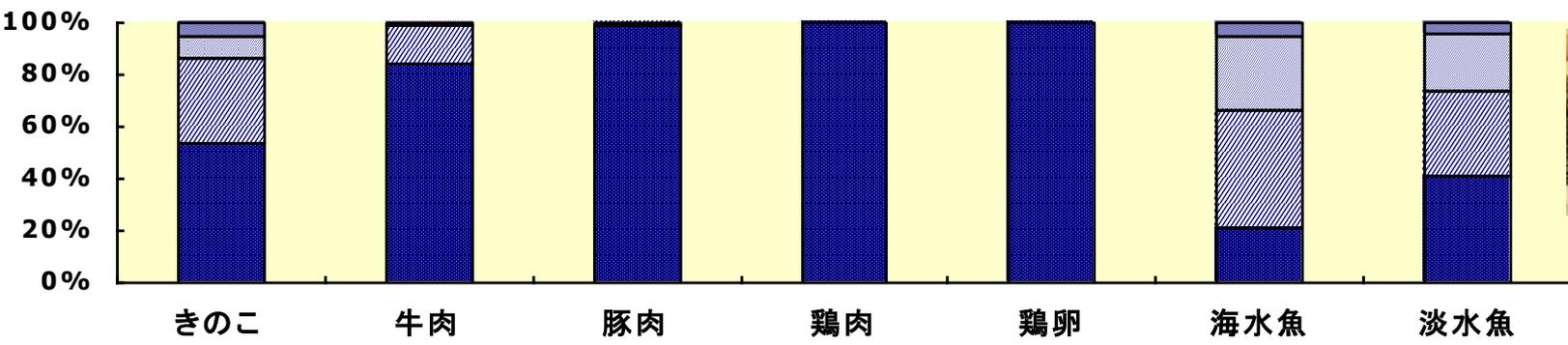
- 大半は100Bq/kg以下
- キウイフルーツ、クリ、きのこ、魚介類では500Bq/kg超もある



穀類



果樹



その他

2012年4月～2012年8月

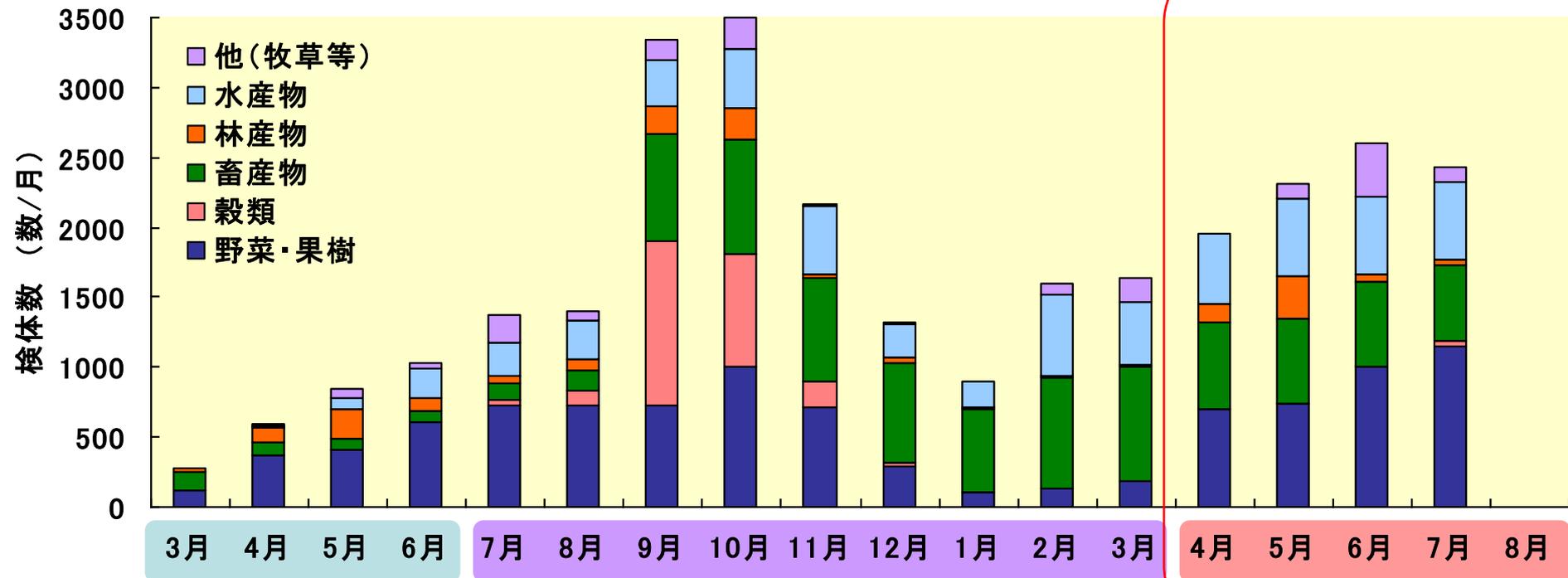
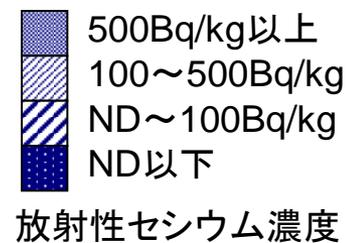
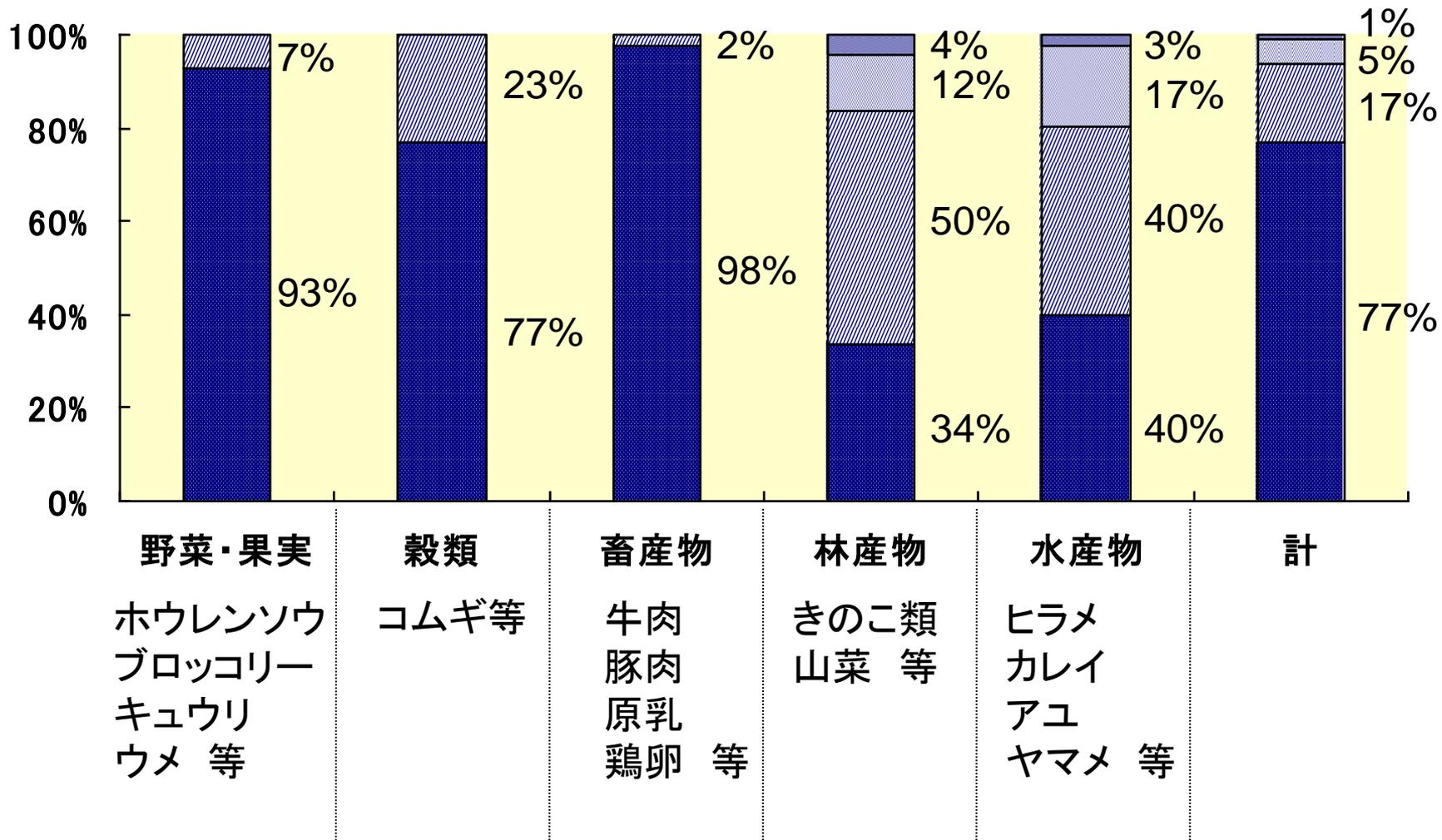


図 月別の分析点数

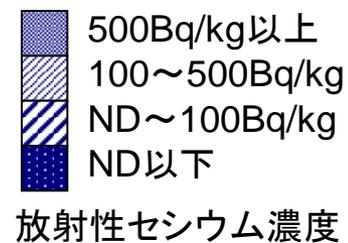
2012年4月～8月



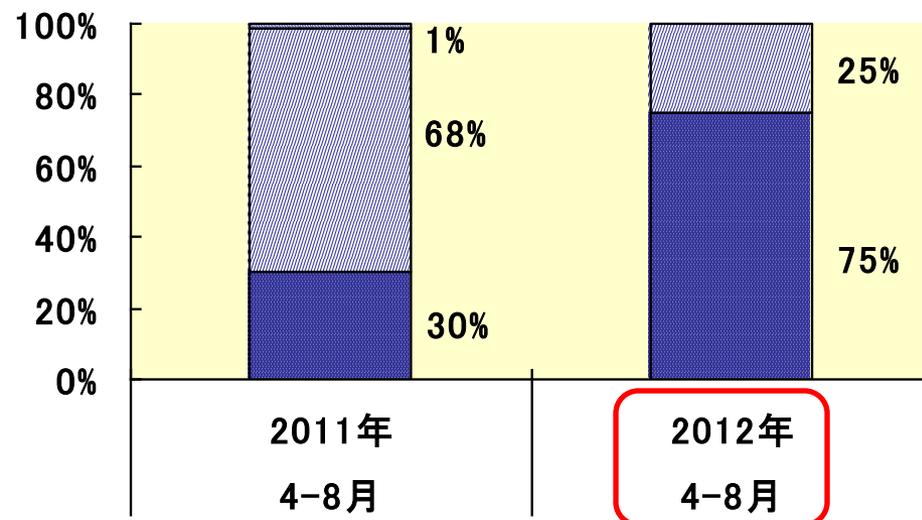
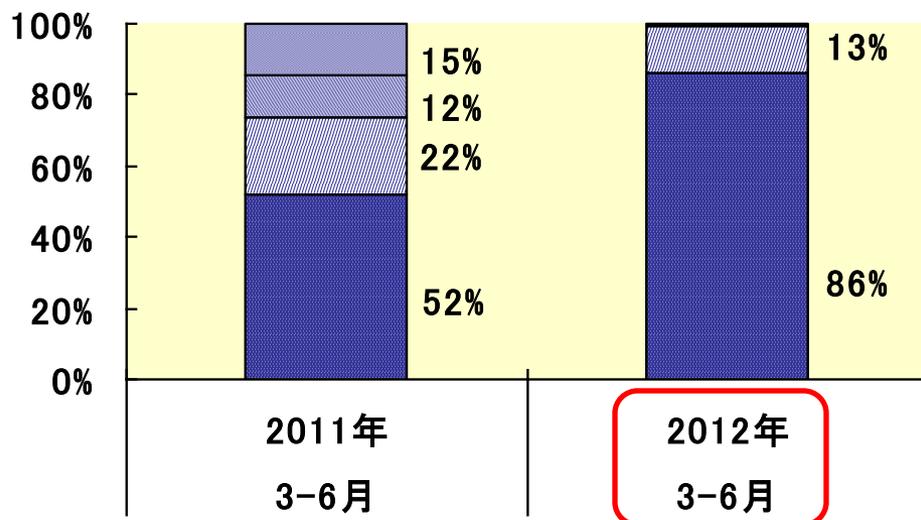
○調査全体(計10066)でND以下は77%、ND～100Bq/kgは17%、100～500Bq/kgは5%、500Bq/kg以上は1%



2012年4月～8月



○ほぼ100Bq/kg以下

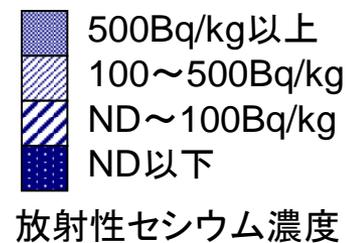


ホウレンソウ

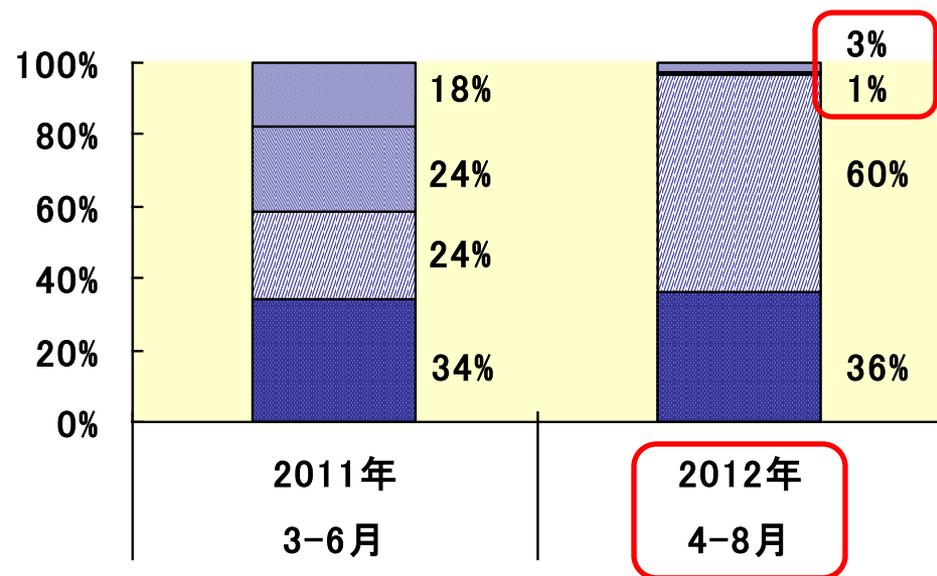


モモ

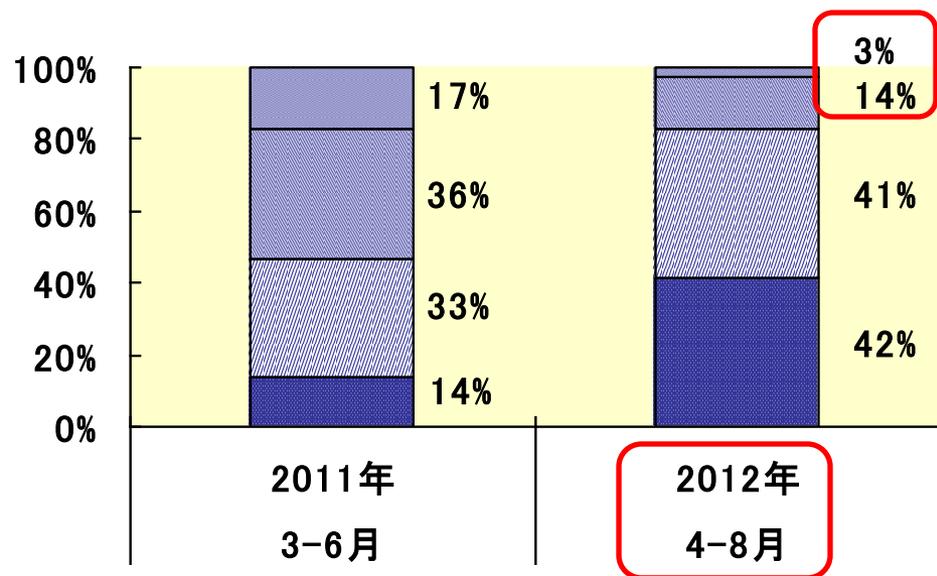
2012年4月～8月



○100Bq/kg以上はキノコ類で4%、魚介類で17%

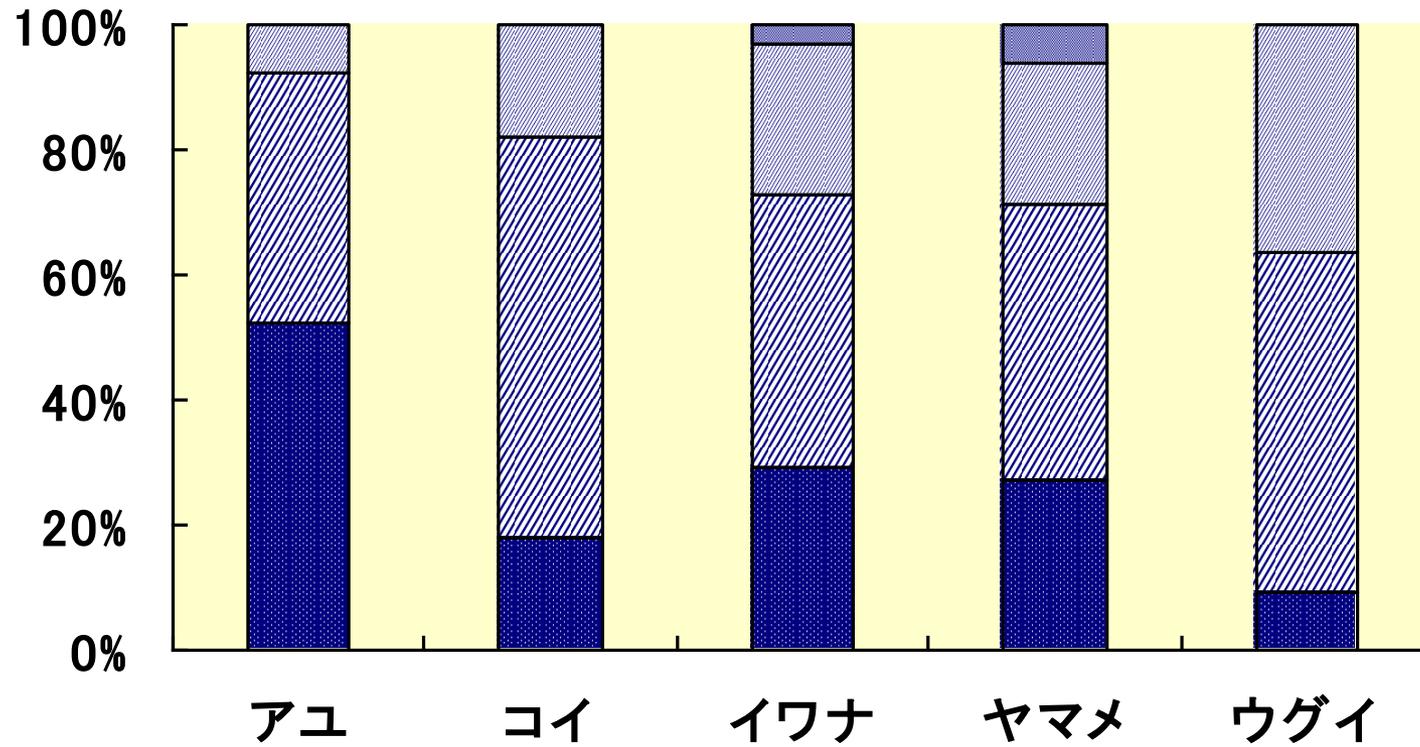
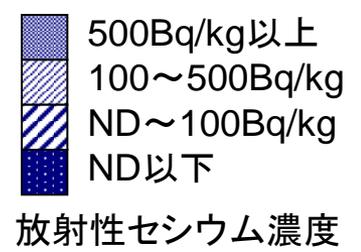


キノコ類



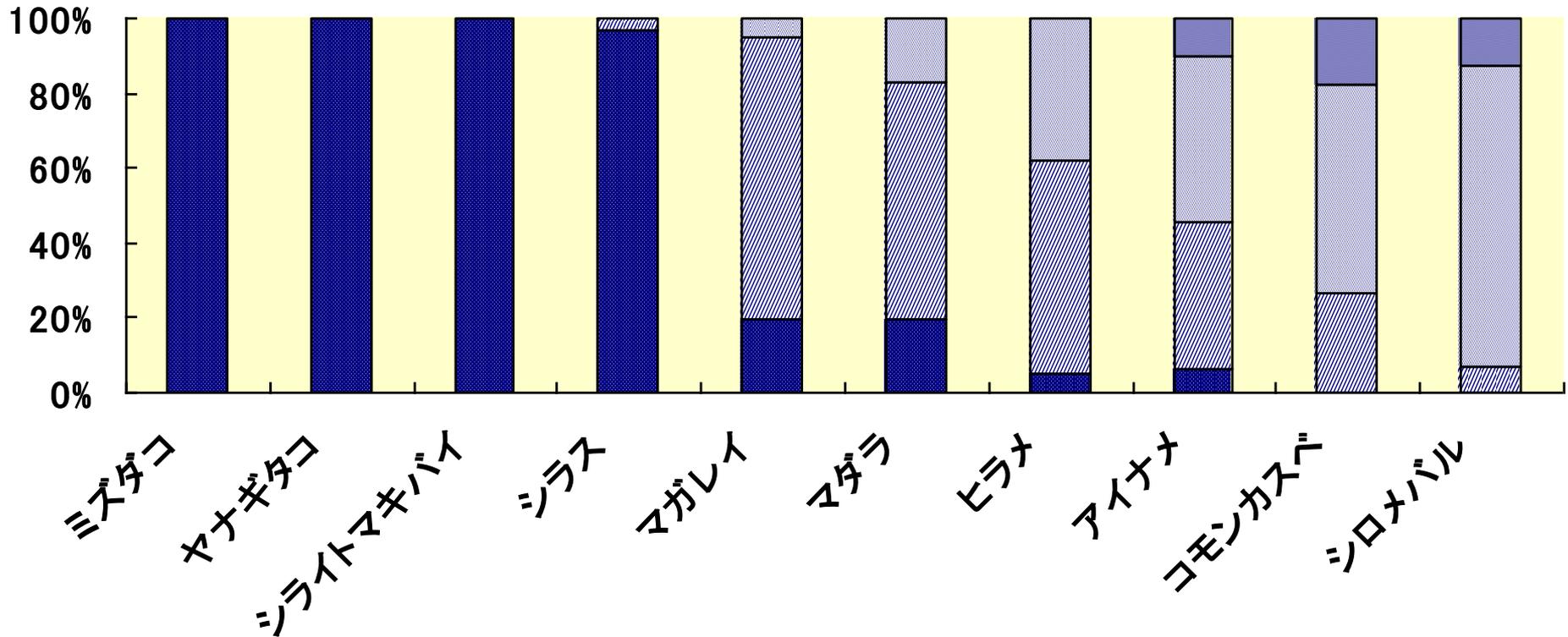
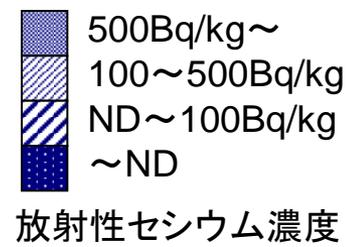
魚介類

2012年4月～7月 淡水魚



2012年4月～7月 海水魚

○品種によって放射性セシウム濃度が異なる



6月19日
福島民報

相馬沖3魚種 出荷再開

【本報相馬十九日通信】相馬沖の魚種出荷が、十九日午後六時、再開された。再開されたのは、アサギ、ササギ、ササギの三種である。再開されたのは、アサギ、ササギ、ササギの三種である。再開されたのは、アサギ、ササギ、ササギの三種である。

【本報相馬十九日通信】相馬沖の魚種出荷が、十九日午後六時、再開された。再開されたのは、アサギ、ササギ、ササギの三種である。再開されたのは、アサギ、ササギ、ササギの三種である。

【本報相馬十九日通信】相馬沖の魚種出荷が、十九日午後六時、再開された。再開されたのは、アサギ、ササギ、ササギの三種である。再開されたのは、アサギ、ササギ、ササギの三種である。

【本報相馬十九日通信】相馬沖の魚種出荷が、十九日午後六時、再開された。再開されたのは、アサギ、ササギ、ササギの三種である。再開されたのは、アサギ、ササギ、ササギの三種である。

【本報相馬十九日通信】相馬沖の魚種出荷が、十九日午後六時、再開された。再開されたのは、アサギ、ササギ、ササギの三種である。再開されたのは、アサギ、ササギ、ササギの三種である。

【本報相馬十九日通信】相馬沖の魚種出荷が、十九日午後六時、再開された。再開されたのは、アサギ、ササギ、ササギの三種である。再開されたのは、アサギ、ササギ、ササギの三種である。

ヤナギダコ、ミスダコ、ツブ貝 あすの試験操業分から

県内沿岸域で 原発事故後初

【本報相馬十九日通信】福島県内沿岸域で、原発事故後初の試験操業が行われる。試験操業の対象となるのは、ヤナギダコ、ミスダコ、ツブ貝の三種である。試験操業は、あす（二十日）から始まる。試験操業は、あす（二十日）から始まる。

【本報相馬十九日通信】福島県内沿岸域で、原発事故後初の試験操業が行われる。試験操業の対象となるのは、ヤナギダコ、ミスダコ、ツブ貝の三種である。試験操業は、あす（二十日）から始まる。

【本報相馬十九日通信】福島県内沿岸域で、原発事故後初の試験操業が行われる。試験操業の対象となるのは、ヤナギダコ、ミスダコ、ツブ貝の三種である。試験操業は、あす（二十日）から始まる。

【本報相馬十九日通信】福島県内沿岸域で、原発事故後初の試験操業が行われる。試験操業の対象となるのは、ヤナギダコ、ミスダコ、ツブ貝の三種である。試験操業は、あす（二十日）から始まる。

【本報相馬十九日通信】福島県内沿岸域で、原発事故後初の試験操業が行われる。試験操業の対象となるのは、ヤナギダコ、ミスダコ、ツブ貝の三種である。試験操業は、あす（二十日）から始まる。

【本報相馬十九日通信】福島県内沿岸域で、原発事故後初の試験操業が行われる。試験操業の対象となるのは、ヤナギダコ、ミスダコ、ツブ貝の三種である。試験操業は、あす（二十日）から始まる。

【本報相馬十九日通信】福島県内沿岸域で、原発事故後初の試験操業が行われる。試験操業の対象となるのは、ヤナギダコ、ミスダコ、ツブ貝の三種である。試験操業は、あす（二十日）から始まる。

【本報相馬十九日通信】福島県内沿岸域で、原発事故後初の試験操業が行われる。試験操業の対象となるのは、ヤナギダコ、ミスダコ、ツブ貝の三種である。試験操業は、あす（二十日）から始まる。

県産食品の安全・安心を確保する取組みについて

生産段階(産地・生産者)

流通段階(流通事業者)

消費段階(消費者)

農林水産物の緊急時
環境放射線モニタリング

- 出荷する前に検査
- Ge半導体検出器



産地での検査

- 検査の強化
- 出荷する前に検査
- NaI、ベルコン式導入

農産物情報の表示

- 米には検査済シール

流通する食品の検査

- 市場流通前の加工食品等を検査

加工食品の検査

- 加工食品検査体制の強化

情報の見える化

- HP上で結果を公表

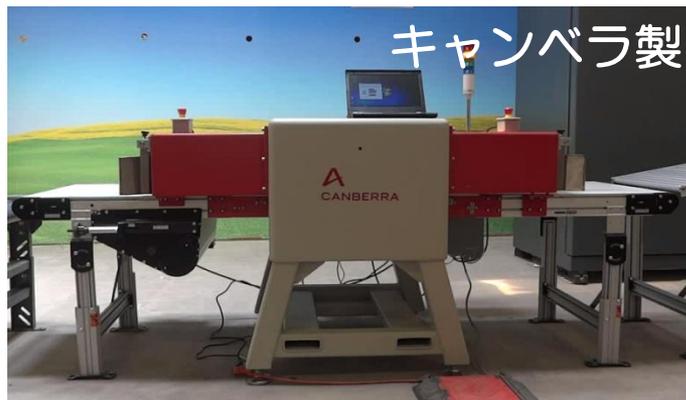
学校給食の検査

日常食の検査

家庭菜園等の検査

福島県内に導入されたベルトコンベア式放射性セシウム濃度検査器は5機種

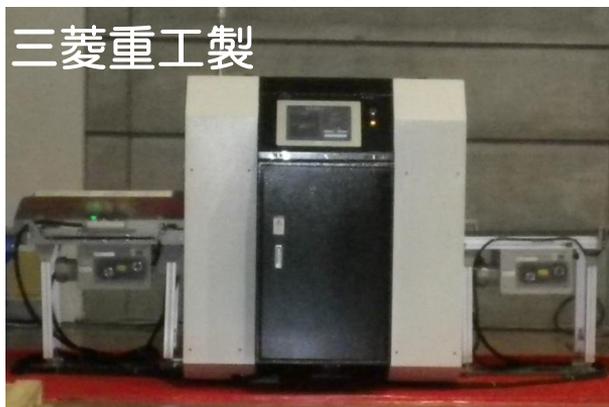
島津製作所製



キャンベラ製



富士電機製



三菱重工製



日立造船製

検査結果(園芸品目)

NaIシンチレーション等簡易分析機器の分析結果では、測定誤差を考慮し、検査結果が50ベクレル/kg以下であれば出荷・流通します。50ベクレル/kgを超過すれば、ゲルマニウム半導体検出器で再分析を行います。

50ベクレル/kg
以下

出荷・流通

検査結果

100ベクレル/kg
未満

50ベクレル/kg
超過

ゲルマニウム
半導体検出器*
で再検査

100ベクレル/kg
以上

出荷
自粛

*NaIシンチレーション等簡易分析機器より精密な分析が可能な機器

米の全袋検査場のイメージ

検査済ラベル印刷・貼付

福島県
放射性物質検査済

※このお米の詳細な情報は、
QRコードで確認できます。
識別番号



0000-0000-0000-0000

ふくしまの恵み安全対策協議会

TEL 024-573-0873

URL <http://fukumegu.org/mieru/kome>

燃焼時にCO₂を吸収するラベル

福島県では、全量全袋検査を実施し、食品衛生法の基準値(100ベクレル/kg)以下であることを確認しています

識別番号 1201-112-1234-00001

検査結果 30ベクレル/kg(参考値)

測定下限値 25ベクレル/kg

検査年月日 平成24年11月11日

ライン挿入

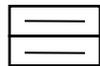
バーコード読込

検査器本体



福島県産

コシヒカリ



平成24年産



安全な福島県のお米

放射性物質検査を実施した玄米を使用しています。

検査結果は、ホームページで確認できます。
福島県・ふくしまの恵み安全対策協議会
☎024-521-8446

<http://fukumegu.org/mieru/kome>



精米袋への貼付

検査情報

玄米

ふくしまの恵み安全対策協議会
放射性物質検査情報

福島県内で生産し、出荷された玄米は、全量・全袋検査を実施し、食品衛生法に定める一般食品の基準値(100ベクレル/Kg)以下であることを確認しています。

検索結果

地域: 福島県全域(市町村別)
 期間(検査日): 2012年08月25日~2012年09月05日
 検査点数: 2,956点

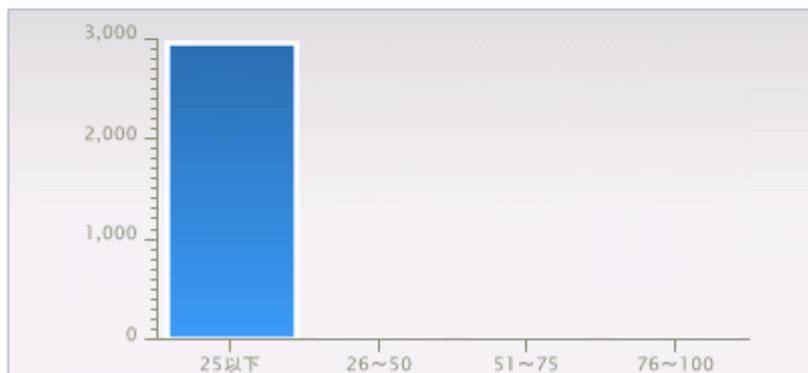
検索条件

地域の選択: 福島県全域(地域別) ▼
 福島県全域(市町村別) ▼
 検査日の選択: 全期間 ▼

トップページにもどる

検索

検査点数



	25以下 ベクレル/kg	26~50 ベクレル/kg	51~75 ベクレル/kg	76~100 ベクレル/kg
検査点数	2,956	0	0	0
割合	100%	0%	0%	0%

放射性セシウムは、セシウム134とセシウム137の合計値。
 割合については、小数点以下を四捨五入しています。

モニタリング調査結果は、福島県および厚生労働省のホームページ等で公表している。

福島県：

<http://www.new-fukushima.jp/monitoring.php>

厚生労働省：

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001m9tl.html>